

# 16 「防災かるた」をつくってみよう！

防災の知恵や災害の教訓をもとにみんなで手書きのオリジナルかるたを作成し、かるた大会を実施します。



オリジナルのかるたを作成する作業を通じて、防災の知恵や災害の教訓について積極的に学んでもらいます。



時間軸

## 実施内容

対象人数★5～40人（1グループ5～6人）

### 1 導入（5分）

- 今回つくるかるたは、阪神・淡路大震災のときの教訓や、防災にちなんだかるたであることを説明します。札をつくったりかるた取りで遊ぶだけでなく、書いてあることについてよく覚えるよう指導してください。
- 人数が多い場合はグループ分けして、それぞれのグループで取り札をつくっていきます。

### 2 取り札づくり（15分）

→資料16-1・16-2

- 取り札用の台紙（資料16-1）を厚紙などにコピーしてカードサイズに切ります。
- 読み札（資料16-2）を配付し、読み札に書いてあることをイメージしながら、色鉛筆やクレヨンを使って子どもたちが取り札をつくります。グループの人数に応じて各人が作成する枚数を決めてください。



内容をイメージしながら作ろう

### 3 かるた大会（15分）

→資料16-2

指導者や子どもの代表が読み札（資料16-2）を読んで、かるた大会を実施します。



取り札ができたら、みんなでかるた大会をしよう

### 3 まとめ（5分）

- 指導者が読み札の内容について簡単に振り返り、震災の教訓や日ごろからの備えの大切さについて確認しましょう。
- 子どもたちのほうから、かるたの感想や防災について学んだことを発表してもらってもいいでしょう。

## 指導ポイント

読み札を読むときは、ゆっくりはっきり読みましょう。取り札を取ったら終わりではなく、札に書かれていることについて、簡単な解説を加えてください。遊びで終わらせないためには、かるたに込められた内容をきちんと解説することが重要です。

## 自主防災組織の関わり方

- 読み札を作るときに参加してもらい、地域防災の情報を盛り込んでもらいます。
- 防災かるた進行のサポート役をしてもらいます。

## 準備するもの（目安）

準備品	数	備考
<input type="checkbox"/> 資料「防災かるた取り札」	グループに1つ	資料16-1（配付用）
<input type="checkbox"/> 資料「某愛かるた読み札」	グループに1つ	資料16-2（配付用）
<input type="checkbox"/> マイク＆スピーカー		必要に応じて準備

## 家庭への持ち帰り

かるたの読み札には、震災や防災に関する教訓がたくさん盛り込まれています。事前に子どもたちにペーパーを配付し、家庭で保護者とともに覚えてもらってもいいでしょう。

## このメニューに関する+αの知識

取り札を大きな紙で作成する「ジャンボかるた」としてもよいでしょう。チーム対抗で取り合うゲームとすれば、活気のなかで防災の知恵や震災の教訓を学ぶことができます。